

1959

小さい早稲

石だたみにアツク見つけた

けがをしているらしく

思うように行かなくな

か少しそうか 足はけがをしたのかと申したい

と思つてにん

同じような思いアツク来てよかつていつ

アツクをひよのときわえてあまけりめた

どこへ行くのかまゝとスへつれた

かまのりだ

とついで行くん

小さな草が多い そのすまの

形が地へくわえてつれて行った

そこにけつあつていろアツクが何だか

ヒツクしていつ

そこへ木とすてて

天幕アリけどこかへ行つてしそつた

仲間をたすけはしな

よわつていつ仲間をあてて行った

いどいどと見ていたことがあ

人術を同じかもし水原い
 国うていゝのど 本舞でたすけたりしをい
 それどころか
 相手をたふして
 様力者として君臨する
 そのくろわ天しか 歴史となつていゝ
 戦いは 常に相手をよくする
 自分た正しいと 正統化して 戦いに
 けとんでいゝ
 その歴史はかえらねる

これかうの歴史は 自分達の手にする
 たたかひの存心 善悪の平和をのぞむ存心
 相手たあつていゝと相手も思つていゝのど
 話しあひ といふのがあつた
 個人ども 相手の話をきいて
 何だそうか？ 何の事か？ と少なり 善悪の二と
 がある そんな山さなふとてか工印なりだ

2023
9/8